

学校だより

☆輝き☆

伊達市立星の丘小中学校
第5号

令和3年8月31日

学校教育目標

- 〈徳〉 やさしく～夢を持ち続ける子の育成
〈知〉 ただしく～自ら進んで学ぶ子の育成
〈体〉 たくましく～最後までやりとげる子の育成



アイヌ民族衣装
見学学習より

2学期の学校経営に向けて

校長 高橋 秀 壽

北海道の夏が足早に駆け抜けていることを日々感じる今日この頃です。季節の移ろいに目や心に向けることは、人間の感受性を豊かにしてくれます。

全国連合小学校長会副会長の阿久津 一広校長先生の話の抜粋です。「熱中症のリスクが高いので、戸外での活動時にはマスクを外しましょう。」と呼び掛けても、なかなかマスクを外すことのできない子どもが増えています。「夏休みで楽しみなことは、何ですか。」と尋ねても、浮かない表情の子どもがいることに危惧の念を抱きます。コロナ禍以前の子どもたちであれば、夏休みと聞いただけで心を躍らせていたが、一体どうしたことでしょう。これには、これまでの新型コロナウイルス感染症に関する社会や学校からの様々な情報や対応が影響しているものと考えられます。命を守ることを最優先として取り組んできた結果、私たち大人が過度に不安感を与えたり、恐怖心を植え付けたりしてしまったからではないでしょうか。さらに、子どもたちが日々の生活に十分な満足感や達成感を得られず、夢や希望をもつことができないためではないかと思われまます。『自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る』という使命を託された目の前の子どもたちには、発達段階に応じた学校行事等での豊かな体験や経験の場が、心身の成長にとって必要不可欠です。その体験や経験を通して得られた満足感や達成感が自信となり、次への意欲の源となって将来や未来への夢や希望に繋がるのです。私たち校長は、子どもたちの「生きる力の育成」という原点に戻り、地域の実態や状況に応じた活動内容の精査・精選を行い、子どもたちの心（感情・意欲・意識）の安定と成長を保証する学校経営の推進を図ることが、今こそ求められていると強く感じています。共感するところが沢山ありました。星の丘の子どもたちにとっても行事や体験活動の中で、達成可能な目標を設定し、満足感を育むことが積み重ねとなり、結果、成長になっていく2学期にしたいと考えます。

経営に繋がる先達の言葉を少しご紹介します。

- 一. 発想力を鍛えるためのポイントをご紹介します。まずは物事を疑ってかかること。例えば人というものは一つの会社や業界に長くいると、そこでの習慣にいつの間にか囚われてしまいます。そこで、周りが常識と考えていることは果たして本当なのだろうか、と常に疑ってかかることで発想力は鍛えられます。山本康博 ビジネス・バリュー・クリエイションズ代表
- 二. 相談の中身はそれぞれに異なるが、何か問題があって、ずっと解決しない時には必ず一つの共通した症状がある。それは“人のせいにする”ということだ。「あそこの会社は力があるから」「うちには人材がないから」といったように「〇〇のせいだ」という言葉が必ずどこかにでている。岸良裕司 ゴールドラット・コンサルティング日本代表
- 三. 私の郷里・山梨の出身者に小林一三という大先輩がいらっしゃいます。阪急電鉄や東宝、宝塚歌劇団などを起こした大実業家ですが、この方が「金がないから何もできないという人間は、金があっても何もできない人間である」と言っています。

大村智 北里大学特別栄誉教授

- 四. 優れた才能をつくるために最も大切なことは、何度でも繰り返してやる、ということです。身につくまで何度でも、繰り返してやる。子供が日本語をしゃべれるようになるのは、毎日毎日の繰り返しでしょう。どんな能力でもそれと同じで、やさしく感じるようになるまで、何度でもやる。それが能力を高める秘訣ですね。

鈴木鎮一 才能教育研究会会長

- 五. 自分の一つひとつの言動、極端に言うと会社の中で一歩動いたら、その一歩が社益に繋がっている。あるいは付加価値を生み出している。それが仕事をしている人です。ただ言われた通りに機械を動かしている、資料をつくっている。そういう人は作業だけをしている人です。たとえ単純作業であっても、どうやったら効率を上げることができるか、不良品を少なくできるかということを絶えず考えていかなければいけません。川田達男 セーレン会長兼 CEO



2学期スタート

8月18日（水）に、2学期がスタートしました。始業式では、児童生徒から『2学期に楽しみなことや頑張りたいこと』『夏休みの思い出や決意』についての発表がありました。どの子どもははっきりとした声で、堂々と発表することができました。また、聞いている児童生徒の姿勢や態度も素晴らしく、2学期に向けての意欲を感じました。めあてを忘れずに粘り強く頑張ることを期待しています。

2学期は1年間の中で1番長い学期です。様々な学習や活動に取り組み、しっかりと力を付けていけるようになっていきます。



職業学習(ハローワーク)

キャリア学習の一環として、毎年、ハローワークに来ていただき、開催している授業です。コロナの影響で今年度も日程の変更を余儀なくされましたが、開催することができました。

学校生活に必要なことである「礼儀、マナー、我慢強さ」は働くことでもとても大切なことなので、しっかりと身に付けておくことが大切ですよという話をいただきました。改めて、自分の学校生活を見直す良い機会となりました。



ウポポイ見学学習

8月27日（金）に、ウポポイ（民族共生象徴空間）へ見学学習に行ってきました。クイズラリーに答えながら施設を歩き、展示物を見たり、伝統芸能を見学したりしてきました。「ムックリ」の演奏を間近で聴くこともできました。また、アイヌ料理も食べてきました。アイヌの食文化に触れることができ、大変貴重な体験となりました。



ひまわり

本校サポートスタッフの堤様より「ひまわり」を寄贈していただきました。校舎前の道路沿いにすくすくと育ち、児童生徒や通行される方を和ませてくれています。ありがとうございました。



9月行事予定

- 1日（水）三者面談（中）～15日まで
- 2日（木）小部会
- 3日（金）秋の遠足（中止） 定時退勤日
- 6日（月）実務者会議 中部会
- 7日（火）フィールドワーク（中） 研修日
室蘭高等養護学校教育相談
- 8日（水）胆振教育局指導監学校訪問
伊達高等養護学校教育相談
小部会
- 9日（木）校務部会
- 10日（金）児童生徒会 月行事調整委員会
- 14日（火）不審者避難訓練 研修日
- 15日（水）小部会 初任段階研修3年次
- 16日（木）後期認証式
収穫祭（中）
初任段階研修3年次
- 17日（金）児童生徒会（新） 職員会議
フィールドワーク（中） 予備日
定例校長会 定時退勤日
- 21日（火）フェスティバル特別日課開始
定例教頭会
- 22日（水）学校公開研究会
- 24日（金）果物狩り（中） 児童生徒会
道中校長会研究大会（Zoom）
- 28日（火）オープンスクール（中2壮警高校）
- 29日（水）フェスティバル総練習 小中部会
- 30日（木）児童生徒会リハーサル
フェスティバル前日準備